かがやき

広陵町立広陵東小学校
No.３
令和６年５月１４日発行

「こころづかい」は見える

東日本大震災のあと民法各局は企業のCMが自粛され、毎日流されていたのは公共広告機構（ACジャパン）のメッセージでした。あいさつの魔法のシリーズで「ぽぽぽぽーん」というフレーズが繰り返し流され、耳に残っている方もおられる方も多いと思います。日本中が沈んだ気持ちになっている中、別のシリーズで心に残ったフレーズがありました。

「こころ」は　だれにも見えないけれど、
『こころづかい』は　見える。
「思い」は　見えないけれど、
『思いやり』は　だれにでも見える
その気持ちをカタチに。

調べてみると、埼玉県羽生市出身の詩人 宮澤章二さんの「行為の意味」という詩から抜粋されたものでした。道徳の教材にも使われていました。

「行為の意味」　宮澤章二

あなたのこころはどんな形ですかと
　人に聞かれても答えようがない
自分にも　他人にも心は見えない
　けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど
　心づかいは見えるのだ
それは　人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれ
　思いやりは見えるのだ
それは　人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が　あたたかい行為になり
　やさしい思いが　やさしい行為になるとき
心も思いも　初めて美しく生きる
　それは　人が人として生きることだ

「こころ」を『心づかい』に「思い」を『思いやり』という見えるカタチに変えることが人と人がつながり、人が人として生きる大切なことだと感じました。

※後でこの方はクリスマスソングの「ジングルベル」の日本語の作詞をされた方だということも知りました。

遠足にいきます

１・２年生は５月１５日（水）に「うだアニマルパーク」にいきます。うだアニマルパークで行われている「いのちの教育プログラム」に参加します。いのちの教育プログラムは、私たちと動物との関わりに気づき、動物にも感情や要求があること、動物の「いのち」私たち人間と同じであることを感じ、それぞれの動物の「いのち」がよりよく生きるために私たちがどのような責任を負い果たすべきなのかを考えます。

３・４年生は５月１６日（木）で、行き先は大滝ダムと森と水の源流館です。私たちの生活に欠かすことのできない『水』を育む豊かな森をはじめ、自然のもっている「美しさ、楽しさ、不思議さ」を感じ、また、ダムの雄大さやその必要性を学んで来てほしいと思います。

５・６年生は、５月２３日（木）に東大寺と平城宮跡にいきます。奈良の大仏は小さいときに見た記憶がある人もいるかもわかりませんが、高学年になって学習のために世界遺産として見る大仏は感じ方が違うと思います。平城宮跡では、都がおかれていた当時に思いをはせてほしいと思います。

お知らせ

バス代が大変高くなったこともあり、遠足や修学旅行の代金も例年に比べてもかなり上がってきています。他校では遠足はバス代の節約から、中止するところがでてきています。本校でも、今後、現在の積み立て分では修学旅行までの代金をまかなえない状況になることも考えられます。そこで、１.２年生の秋の遠足は、バスを使わず、行き先を近隣にする計画をすすめています。ご理解いただきますようお願いいたします。近づいてきましたら、またご連絡させていただきます。

今月の掲示

今月は春らしく、かわいいタケノコが顔を出し、その上をちょうちょがたくさん飛んでいました。